



スカウト あいち

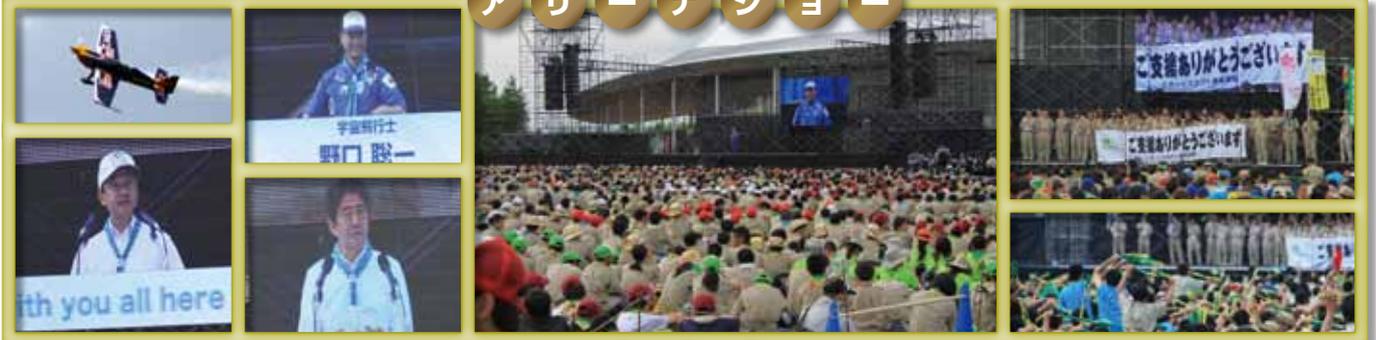
No.214

2013.10.15
発行部数 14,330部

開 会 式



ア リーナ シ ョ ー



閉 会 式



第16回日本ジャンボリー 開催!

「第16回日本ジャンボリー」は、7月31日～8月8日の9日間、山口県の瀬戸内海に隣接する「きらら浜」で開催されました。

今大会は、「第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー」として、さらに、2015年に同じ会場で開催される「第23回世界スカウトジャンボリー」のプレジャンボリーとして開催され、日本を含むアジア太平洋地域を中心に53の国と地域から約1万5千人が参加し、愛知連盟からもスタッフ、指導者を含め約1千5百名が参加しました。

期間中は猛暑が続き、アリーナショー当日はアリーナ入場中にゲリラ豪雨に見舞われ自然の猛威も体験しましたが、スカウトが一堂に集まった開会式、アリーナショー、閉会式の会場は、スカウトの歓声と熱気に包まれ、絆を確かめ合った大集会となりました。

夜空の星影も印象的でしたが、スカウト一人一人の胸にさまざまな思い出が刻まれたことでしょう。

- 発行／日本ボーイスカウト愛知連盟 事務局：〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50 愛知県白壁庁舎4階
TEL：052-972-6281 FAX：052-972-6283 ホームページ：http://www.scout.aichi.jp E-mail：office@scout-aichi.or.jp
- 編集／スカウトあいち編集チーム ●印刷／名鉄局印刷(株) 印刷部数 14,330部

愛知スカウト人口(平成25年10月10日現在)団数 197団 隊数 901隊 スカウト 7,625名 指導者など 5,624名 合計 13,249名

16NJをふりかえって

16NJ愛知連盟派遣団長(県連盟コミッショナー) 氏家 邦政

7月31日から8月8日まで山口県阿知須・きらら浜において、第16回日本ジャンボリー/第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーが開催され、愛知連盟として1,509名の日本最大の派遣団を送ることができました。

今大会は再来年開催される23WSJのプレジャンボリーということもあり、移動日を含めて、参加隊は11日間、ベンチャースカウトを含む大会運営スタッフは2週間以上という今まで経験したことのない長期間にわたる野営生活を経験しました。また、大会開催直前には山口県北部を記録的な豪雨が襲い、甚大な被害が有り、大会の開催も危ぶまれました。

当時は周防灘に面し、瀬戸内特有の蒸し暑さで、決して快適な生活環境とは言えませんでした。そんな中でもスカウトたちは、「GDV(地球

開発村)」「カルチャー」「サイエンス」の場内プログラムをはじめ、広島ピースプログラムを始めとする様々な場外プログラムやフリータイムアクティビティなどを粛々とこなし、「開・閉会式」「アリーナショー」や他県連盟、外国スカウト隊との交流を通じて、数多くの経験をする事ができました。

大会半ばに見舞われたゲリラ豪雨により一部のキャンプサイトが水没したり、テントが風で飛ばされたりなど大きな被害を受け、改めて大自然の驚異を感じながら、持ち前のスカウトスピリッツと多くの仲間達との協働でこれを乗り越えました。

大会派遣に際し、ご支援をいただいた全ての皆様に改めて感謝申し上げます。2年後の23WSJがより良い大会となるよう、今回の反省を生かして行きたいと思っております。



菊章受章98名おめでとう!

平成25年6月1日～8月31日

地区名	団名	氏名	隊長名
名古屋巽	名古屋第80団	池田 翔 高橋 将樹	浅田 章敬
	名古屋第16団	鈴木 良哉	加藤 隆
名古屋西部	名古屋第29団	安藤 翔太 下里 晃輝	酒井 健司
	名古屋第22団	越口 翔 松田 征馬 三谷 育也	加藤 健一
名古屋千種	名古屋第66団	磯原 良介	原田 幸典
	名古屋第87団	浅野 真璃帆	山下 直人
	名古屋第91団	横山 ひなた 澤田 有伽	横山 元康
名古屋北斗	名古屋第42団	石川 泰地	国立 善行
	名古屋第95団	今井 健太	小出 直基
尾張南	蟹江第1団	小山内 康太	加藤 千博
	あま第3団	坂下 祥一 辰巳 弘樹	竹内 正人
	津島第3団	安藤 大智	門野 広域
尾張東	犬山第7団	伊藤 有紀	小倉 正啓
	江南第3団	安田 星香	家田 昌俊
	瀬戸第1団	塚口 航平	篠塚 貴史
	小牧第1団	落合 智仁	古木 啓介
		開内 舞那 川尻 宏仁	
	春日井第8団	上田 朋輝	小林 弘幸
春日井第10団	得能 圭史	山口 貴美江	
尾張西	一宮第10団	山藤 匠	土川 功介
	稲沢第1団	鈴木 啓太	川口 尚哉
	稲沢第2団	細尾 真理奈	平林 慎太郎
知多東	半田第1団	間瀬 泉美	二橋 鋼太
	半田第8団	高橋 美帆 山本 里佳	浜口 真伍
知多西南	常滑第8団	濱口 颯馬 杉江 倫太郎	室井 稔史
	武豊第2団	石川 知実	初山 和之
		植田 陽平	
知多北部	大府第1団	阿部 修士 小川 菜月	近藤 和子
	大府第2団	植田 日向子	谷川 歩
	東海第2団	近藤 寛仁	中村 耕治
	東海第3団	濱島 光希	花井 真也
	東浦第1団	小野 有希	戸田 幸秀
	東浦第2団	井上 愛万 高島 千聖	松田 修
碧海	安城第3団	山田 知季	寺田 達夫
		小塚 陽希 成木 大河	

地区名	団名	氏名	隊長名
碧海	安城第3団	小野 叶夢 下平 菜緒	寺田 達夫
		柴田 涼香	
三河葵	岡崎第3団	杉山 泰雅	米津 和也
	岡崎第5団	岩田 毬那	藤江 敏
		多田 宙史	
	岡崎第8団	渡辺 真帆	浅川 信之
		鳥山 智子	
		高橋 靖昌	
西尾第1団	高瀬 瑞紀	本多 祐樹	
西尾第5団	杉浦 哲平	宇野 公司	
	加藤 七海 加藤 寿栄		
穂の国	豊川第5団	鈴木 皓博 大國護 翔太	田中 慎二
	豊橋第4団	河合 悠希 小林 和樹	羽田野 佐敏
		田中 翔真	
豊橋第5団	西牟田 仁	福井 勝可	
	坂田 好陽		
	西崎 大峻		
豊橋第8団	平井 鳳雅	松坂 岳彦	
	鈴木 樹		
	山本 季佑		
豊橋第12団	野口 太郎	鈴木 健志	
	酒井 優透		
豊田	豊橋第12団	村田 優斗	鈴木 健志
	豊田第2団	岡田 実菜	中川 正裕
		森 勇輔	
豊田第15団	川西 晶大	中村 謙志	
	高見 桃加		
豊田第16団	深津 一貴	斉藤 稔	
	中村 伴吏		
	鈴木 直道		
豊田第24団	岸 雅也	鈴木 哲也	
	岡田 勇太		
豊田第39団	竹下 果歩	大岡 伸也	
	古川 新也		
豊田第40団	岡田 悠暉	奥村 直人	
	滝川 広海		
	岡田 佳大		
みよし第2団	桧掛 聖名	河西 正樹	
	伊藤 彩乃		
	溝口 朋美		
	菅 虎哲		
	河西 駿斗		
三浦 幸大	伊藤 篤志		
吉村 美優	吉村 美優		

ありがとう! きらら浜





ニュース & トピックス

〈尾張〉

山中の森で夏キャンプ

尾張南地区 津島第3団 ボーイ隊長 門野 広域

8月10日～13日、津島第3団は、日本連盟山中野営場で夏キャンプを行いました。山中野営場は毎年、年末の冬期耐寒野営訓練で利用してきましたが、夏に利用するのは、団が始まって以来でした。BS隊のうち5名が16NJに参加のため、班長と初級スカウト5名あわせて6名の参加でしたが、アーチェリー、三国山ハイキング、パイオニアリング等のプログラムをVS隊と力を合わせて行いました。



ボーイのカヌーに羨ましがなカブさん

尾張東地区 瀬戸第6団 ボーイ隊副長 野村 勝美

この夏、16NJに参加しないスカウト9名は、カブ隊と一緒に岐阜県の根の上高原でキャンプをしました。カブ隊は舎営、ボーイ隊は野営でしたので、プログラムも別々に展開しました。その中でカブ隊の魚釣り、ボーイ隊のカヌーが同じ湖で行われましたが、カブスカウトたちはボーイ隊のカヌーを羨ましがって見ていたそうです。はやくボーイ隊の一員になってボーイ隊の活動に取り組む日を夢見て、日々のスカウト活動に励んで欲しいものです。



江南市長を表敬訪問 16NJなど報告

尾張東地区 組織・拡充委員長 椎葉 浩志

8月30日、ボーイスカウト江南第1団から4団に所属する菊スカウト3名と16NJ参加スカウト14名が、江南市の堀市長を表敬訪問しました。菊スカウト代表の新田大騎君が「これまでの経験を次に伝えていき、また富士章も取得できるように頑張っていきます」と述べ、また16NJ参加隊スカウトの各団代表スカウト4名は、過酷な暑さや、印象に残ったゲリラ豪雨と広島ピースプログラムの体験を交え、日本ジャンボリーについて感想を述べました。堀市長からは「現場に強い皆さんのこれからの活躍を期待しています」とのお言葉を頂きました。



2013/08/30

ありがとう! きらら浜





ニュース & トピックス

〈名古屋〉

名古屋ドーム 第28回少年野球愛知県大会開会式で奉仕

名古屋北斗地区 名古屋第42団 カブ隊デンリーダー 梅村 眞弓

4月27日、「ろうきん杯争奪 第28回少年野球愛知県大会」の開会式がナゴヤドームで行われました。開会式の始まる前、カブ隊とボーイ隊が、プラカード、国旗、社旗、連盟旗について責任者の方から指導を受けていましたが、緊張が見られとても心配でした。そして本番を迎え、少年たちの入場に続き、最後にスカウトたちが前年度優勝チームを先導しましたが、約200チーム、4000名におよぶ少年の視線と、観客席からのご父兄の視線を一斉に浴びる中で胸を張った素晴らしい行進を見せてく

れ、感動しました。大観衆で緊張を強いられる中での奉仕でしたが、スカウトにとって貴重な体験ができ、大変良かったと思います。



松本市内ハイク おもしろいものを探せ

名古屋千種地区 名古屋第39団 ボーイ隊隊長 小塚 達也

7月13～15日に団キャンプを行いました。その最終日イベントとして「松本市内ハイク おもしろいものを探せ」を開催しました。探すターゲットは、松本市街にある湧水、大きなハリボテの蛙、旧開智小学校など。そして最後にみんなで松本城をバックに記念撮影をしました。予定の撮影場所は松本城の天守閣でしたが、市内散策が面白く時間を費やしてしまい、松本城の入場が2時間待ちとなったので、今回は断念。スカウトたちから「今度は、雪の中の松本城に登りたい」との希望もあったので、次回は冬の信州松本ハイクでも企画しようと考えています。



記憶に残るキャンプ 川遊びはずっと忘れられない

名古屋西部地区 名古屋第11団 ボーイスカウト 森田 雄大

8月2日から4日まで、長野県の南木曾町柿其にて、カブ隊と一緒に2泊3日の野舎営を行いました。僕は出校日と重なり、初日の夜からの参加となりましたが、班長としてみんなをまとめることが色々あり大変でした。

しかし、そんな野営の中でも一番楽しかったことは川遊びです。川の水の冷たさと岩の上からのダイブが、とても気持ちよかったです。また、今回の経験を経て1級に進級できたので、大変記憶に残るキャンプとなりました。



夏の山登りで、うれしい拾い物

名古屋巽地区 名古屋第31団 ビーバースカウト 林 智



キャンプの二日目に山のぼりに行きました。行く途中、でん車のナットがありました。つぎに山のぼりのと中でのくるみが三つおちていました。わたしは、ナットとくるみをもってかえりました。みつけながら山にのぼったのは、すごくいいおもいでです。

キャニオニングで水流に親しむ

名古屋巽地区 名古屋第31団 ボーイスカウト 橋本 憲明

夏休みの終盤に、安曇野の山荘で3泊4日のキャンプをしました。

一日目、二日目は天候に恵まれず、ナイトカヌー、天体観測ができず、もう帰りたくなるほど残念でした。

三日目、その日は天気が良く楽しみにしていたキャニオニングができました。危険が多いと聞き少し心配でしたが、川に入った時、ウェットスーツからしみ込んできた水が冷たく気がよかったです。

坂をドキドキしながら滑って行くと今度は8メートルほどの滝が。今度もインストラクターが先に飛び込み、僕の滑る番がきましたが、緊張している間もなく滑って行ったら、息が止まっていた。

水中から顔が出た時は、笑うしかなかったです。

ありがとう! きらら浜





ニュース & トピックス

〈知多〉

第16回日本ジャンボリーに参加して

知多西南地区 常滑第6団 ボーイ隊 平野 航生、片山 颯和、山田 理絵

私達3名は、7月30日～8月8日の間、第16回日本ジャンボリーに参加しました。

僕がジャンボリーで心に残ったのはファイナルコンサートです。1万5千人が一度に『ワーッ』となり、一体感があってとても心に残りました。疲れたけれど初めての経験がたくさんできました。2年後の世界ジャンボリーへも行きたいです。

平野 航生

僕のジャンボリーの思い出は、アリーナショーです。各地方から素晴らしい出し物があり、とても感動したからです。皇太子様や安倍総理大臣など、日本のトップの方がボーイスカウト活動に来て下さるという事は、僕たちの「ボーイスカウト」という活動が、素晴らしい活動なのだ、改めて感じました。

片山 颯和

場外プログラムで、私のシロクマ班はハイキングをしました。ハイキングを始める前に歴代総理大臣で山口県出身の人を当てるクイズがありました。その時、安倍総理が山口県出身だと知りました。その他にも、たくさんのチェックポイントがありました。この時が一番、班の人と話が出来ました。つらかったけど、楽しかったです。

山田 理絵



夏の隊キャンプの感想

知多北部地区 東海第4団 カブスカウト隊 2組 浅井 美有

私は、7月13～15日、中日小野浦バンガロー村で行われたキャンプに参加しました。その時にキャンプのたいへんさと楽しさを知りました。キャンプのたいへんさは、しぜんの中で生活することです。バンガローや電気はあるけれど、いつもお母さんが作ってくれるごはんは、自分たちで作っていかないといけないこと、自分の物を自分で管理するのでたいへんでした。その中でとくにたいへんだったのは、物の管理です。友達と荷物がまざってしまうので分けるのが



たいへんでした。

楽しいことは、みんなとおとまりができることです。友達とこわい話やおもしろい話をしたりできるので毎年カブキャンプは楽しみにしています。今年は、海でみんなと遊んだりもぐったりもしました。海の水はしょっぱくておもしろかったです。みんなといっしょに、ワイワイはしゃいだり、みんなのげきをみれてとてもいい思い出で作りができました。また次のキャンプが楽しみです。



平成25年 知多東地区ビーバーラリー ～全力の水遊び～

知多東地区 半田第5団 ボーイ隊副長 田村 洋佑

7月7日真夏のような炎天下の中、知多東地区のビーバーラリーを青葉野営場で開催しました。今回のテーマは「全力の水遊び」。テーマに沿って、ウォータースライダーなどを各団の指導者の方に設営していただきました。今回は80人ほどのスカウトが参加してくれましたが、全身で楽しんでいる様子を見せてくれました。



ありがとう! きらら浜





ニュース & トピックス

〈三河〉

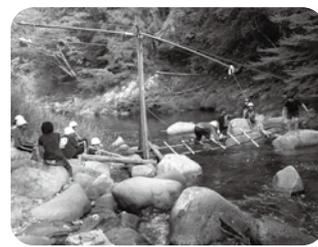
『パイオニアリングに挑戦!』

穂の国地区 豊川第4団 ボーイ隊隊長 石黒 智也

今年の夏期野営はボーイ隊とベンチャー隊の合同野営を行い、共同企画としてパイオニアリングの跳ね上げ橋に挑戦しました。指導者から工作物と作業時の安全確認事項の説明を受け、日頃の隊活動の成果を活かして、隊員それぞれ



が役割を分担して取り組みました。完成した跳ね上げ橋は、野営地の前に流れる川に設置し、皆で順に渡り、スカウト全員で完成した喜びを分かち合いました。9月からの新年度も、楽しいスカウト活動を展開したいと思います。



『走った・走った!』 ビーバー友達集会

三河葵地区 組織・拡充委員長 後藤 龍夫

梅雨の晴れ間 6月23日(日)、21の団からなる三河葵地区主催のビーバーともだち集会を、愛知県幸田町の幸田中央公園で開催しました。集会は、140余名のスカウトと指導者との大きな「ともだちの輪」作りから始まり、その後、玉入れ、デカバン競争、障害物競争等の工夫を凝らした競技を実施。他団のともだちとチームを作り、力を合わせ仲良く一緒に競技ができて、元気で楽しい運動会となりました。



「こびと」をテーマにビーバーフェスティバル

碧海地区 行事・国際委員長 神谷 能弘

5月19日(日)、「お弁当を持って こびとをさがしに行こう」をテーマに、碧海地区ビーバーフェスティバルが安城市で開催されました。グループに分かれて、罾を仕掛けてからカクレモジリ、ヨツバカンノン、タカラコガネなどを捕えるゲームで、それらをゲットするたびに歓声が上がっていました。また、クラフトにも挑戦して、手作りのこびとがスカウトの胸に輝いていました。最後に、スカウト自身が想像したこびとを発表して幕を閉じました。地区のビーバースカウト同士、たのしく交流することができた一日でした。

岡崎市長を菊スカウトが表敬訪問

三河葵地区 組織・拡充委員長 後藤 龍夫

8月26日、三河葵地区内で岡崎市に在住する菊スカウト9名が、菊スカウトへの進級報告と第16回日本ジャンボリー参加報告を兼ね、岡崎市長を表敬訪問しました。市長は岡崎市内団のスカウト経験者。当時のスカウト経験談を交えて、社会人になってからもスカウト技能が役立っていること、また海外でも、ご自身のスカウトの思い出話がきっかけで話題が広がり友達が増えたことなどご披露。そして、最後に「スカウト経験は素晴らしいもので、今後も活躍してください」との激励の言葉をいただきました。



菊スカウトが豊田市長を表敬訪問

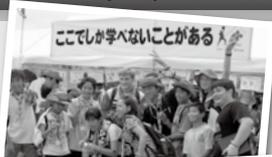
豊田地区 スカウト進歩委員長 川上 次朗

豊田地区では今年度25名が菊章を受章しそのうちの16名が、8月16日(金)、太田稔彦豊田市長に受章の報告をしました。豊田2団の岡田さんが代表して、受章までの苦労や今後の決意を述べ、また、豊田16団の岡田君が、今年開催された16NJについて、事前訓練から大会期間中の活動内容、苦労したことなどを市長へ報告しました。市長からは、いろいろな経験を通してコミュニケーション能力も養われ、スカウト精神によるスカウト活動は将来社会に出た時、生きてくるものなので頑張ってください、と激励の言葉を頂きました。

また、みよし第1団、みよし第2団の菊スカウトは、7月26日(金)に、久野知英みよし市長へ表敬訪問を実施しました。



ありがとう! きらら浜



新城・吉川野営場 空調設備の改修について

この度、各団、各地区、県連盟役員各位、更に、「デンソーはあとふる基金」など各方面からのご支援により、ボーイスカウト新城吉川野営場・宿泊管理棟の空調設備を改修することができました。

宿泊管理棟の各部屋には新たな空調設備が設置され、快適な研修環境を得ることができるようになりました。

野営場の利用機会が増えることを期待しています。



大村名誉連盟長(知事) 信号塔に立つ!

碧海地区 知立第1団 副団委員長 富永 幸勝

9月29日、知立市のボランティア団体と知立第1団との協賛で行った「愛妻川まつり」に偶然にも、大村秀章 名誉連盟長がお越しになり、興味津々のご様子。ペン チャーが作った4脚信号塔に登っていただけたいらしい一幕がありました。



世界ムートへ女性2名が参加

平成25年8月7日から20日にわたり、第14回世界ムート派遣が実施され、カナダ・オタワにあるアワカム・ミノ・キャンプ場での世界ムートに、伊藤佑奈さん(名古屋第87団)と大鐘 菜由さん(名古屋第87団)が参加されました。お二人からは、以下の感想が寄せられました。

「世界各国のローパーと10日間を一緒に生活しましたが、楽しみながら充実した日々を送ることができました。ムートを体験でき、日本と世界のローパーの違いや、自分たちに不足していることなど、勉強になったことが

たくさんありました。今回学んだことや経験したことを、愛知や日本のローパーにもフィードバックしていきたいです。」



お慶び

平成25年8月29日、水谷 恵至氏(愛知連盟理事・尾張西地区委員長)が、ボランティア活動功労者として大村愛知県知事より表彰されました。※後列中央



祖父江善光寺

善光寺は宗派を問わずお参りするお寺

仏法興隆・地域振興・青少年の健全育成と世界の平和を願っています。

〒495-0001
愛知県稲沢市祖父江町祖父江南川原57-2
TEL (0587) 97-0043
FAX (0587) 97-6043
<http://www.zenkoji.com>

私たちは、ボーイスカウト運動を応援しています!

 岡谷鋼機株式会社

 東邦ガス株式会社

 株式会社大丸松坂屋百貨店

 株式会社センゾー

 名古屋鉄道株式会社

 興和株式会社

 株式会社水野鞆店

 新東工業株式会社

一般財団法人ボーイスカウト愛知県連盟維持財団
(敬称略 特別維持会員の方々です。)

編集後記

今号は、誌面の構成が16NJ一色となった。参加年齢に届かなかったスカウトたちにも会場の雰囲気や、また愛知スカウトがきらら浜に残した沢山の足跡を記すべく、各ページにまたがり大小の写真を少々欲張って掲載した。大会の印象、思い出は各人各様。連日かんかん照りのきらら浜が急変したのはアーリーショー当日。よもやのゲリラ豪雨と雷が去り、開会を告げたのは、きりもみも披

露したアクロバット飛行。今回も直前まで知らされていなかったOBゲストは宇宙飛行士の野口聡一さんと、スカウトは大歓声。アジア太平洋地域のスカウトも多い中、流暢な英語で観衆を魅了し、世界の仲間との一体感がピークに。後輩のカブ、ビーバーなど今回参加できなかったスカウトには23WSJ、17NJも待っており、さらに活動に精進され、是非、次に参加していただきたい。(HK)

